

まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証結果一覧(令和2年度実績)

【評価】 1. 順調 2. ほぼ順調 3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R2年度事業内容	予算額・執行額 (千円)	重要業務評価 指標 (KPI)	R元実績値	R2実績値	達成率 (R2)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
1	雇用創出	企業誘致活動の推進事業【まちづくり政策課】	町内への進出を希望する企業や、事業用地を求めている企業に対し、訪問して情報を提供した上で、雇用促進奨励金事業の活用も考慮しながら誘致につながる取組を推進する。	・町内において新たに事業所を建築し、令和3年2月より操業を開始した企業に対して企業立地奨励事業所の指定を行った。	予算額 744 執行額 12	企業訪問数 令和6年度までに年間 40社	35社	16社	40.0%	令和3年3月31日現在の訪問企業は16社となった。新型コロナウイルス感染症の影響により訪問を自粛したため目標には至らなかった。	企業訪問等により新規企業の誘致や既立地企業においても積極的に情報収集を行い、必要に応じて制度の周知等を行う。	評価1 0件 評価2 5件 評価3 3件	※推進会議委員からの個別の意見は4ページ以降にまとめております。
2	雇用創出	就農支援事業【農政商工課】	町内に居住している、または今後居住することが見込まれる農業で生計を立てようとしている女性、及びその女性を雇用しようとする法人を支援することで、女性新規就農者の確保、農業所得の向上、移住・定住を促進する。	・令和2年度については、町内法人等へ聞き取りによる対象者の調査を行ったが、対象となる女性新規就農者がいなかった。	予算額 0 執行額 0	女性就農希望者への就農相談件数 令和6年度までに累計 6人	0人	0人	0%	大郷町農業振興総合補助金について、町内各農業生産法人へ概要説明及び相談を行った。また、地域おこし協力隊についての説明を行った。	関係機関（県農業改良普及センター、JA、町等）が連携して相談及び支援体制を構築し、広報誌や町ホームページ等で広く周知するとともに、町内農業生産法人等に対し雇用計画の調査等を実施する。	評価1 0件 評価2 2件 評価3 6件	
3	移住定住	空き地空き家活用移住促進事業【復興定住推進課】	町民や町外在住の物件所有者から空き地空き家の登録を募り、空き地空き家の利用を希望する人に物件情報を提供することで移住定住の促進を図る。併せて、空き家財道具等処分費用助成により空き家バンクへの登録を促す。	・空き地空き家バンクによる移住定住相談：52件 利用希望者現地案内：24件 ・空き地契約成立：4件、空き家契約成立：3件 ・リフォーム助成金の交付申請受付、審査（事前調査、完了検査）、助成金交付：21件 内訳 町内居住者（限度額10万円）：14件 町内居住者で18歳未満の扶養親族がいる者（限度額30万円）：7件 町外からの移住者（限度額50万円）：0件 ・空き家財道具等処分費用助成事業 助成金交付：0件 ・ホームページ掲載（随時更新）	予算額 30,803 執行額 3,185	空き地空き家バンク活用による移住世帯数 (令和2～6年度) 延べ 8世帯	7世帯 (H28～R1)	0世帯	0%	空き地空き家バンク相談件数：52件 空き地契約成立件数：4件 空き家契約成立件数：3件	空き地空き家バンクが周知されていることもあり、52件の相談があった。今後も登録数を増やすために行政区長への調査依頼、空き地空き家所有者へ広く周知していき、登録数を増やすことができれば評価指数の達成に近づくとと思われる。	評価1 1件 評価2 4件 評価3 3件	
4	移住定住	住宅取得支援事業【復興定住推進課】	町内及び町外居住者で、町分譲地及び民間分譲地を取得し、分譲地取得後2年以内に住宅を建築する者又は建売住宅を購入するもので、18歳未満の子どもが同居する者等に補助金を交付し、町内への移住・定住を促進する。	平成30年6月から高崎団地「恵の丘」の分譲を開始し、残り2区画のうち1区画を分譲した。また住宅取得支援事業補助金について、民間分譲地（けやき坂）取得者7件の補助金を交付した。 件数：7件（200,000助成・加算金なし）	予算額 2,000 執行額 1,400	住宅取得支援事業の対象者数 (令和2～6年度) 延べ 50人	56人 (H28～R1)	22人 (7世帯)	44.0%	現在、民間分譲地での申請が2件。	土地等の情報を求めている相談者もいるので、恵の丘分譲地、民間分譲地ともに情報提供を実施していきたい。	評価1 2件 評価2 5件 評価3 1件	
5	移住定住	地域おこし協力隊受入事業【復興定住推進課】	町外の意欲ある若い人材を誘致し、移住して農業、観光、移住・定住等に関する職務に従事することで地域の活性化を図る。また、大郷町のPRに積極的に取り組んでもらうことで、本町のイメージアップを図る。	令和2年度は地域おこし協力隊員計2名が活動に従事した。さくらファームで活動している芦澤隊員が今年度で任期を満了し活動を終了した。 また、地域おこし協力隊の募集を行い、R3年度から1名、えにしホースパークで活動することが決定した。	予算額 8,479 執行額 8,425	地域おこし協力隊受入の情報発信件数 (令和2～6年度) 延べ 400回	45回	44回 (広報12、SNS32)	11.0%	令和3年度より新たに地域おこし協力隊を採用し、計2名での活動を開始している。 3年目 田中隊員 夢実堂 1年目 佐久間隊員 えにしホースパーク	情報発信は広報やブログを用いていたが、今後はInstagramも活用し、更なる情報発信に努める。また、県からコーディネーターを派遣してもらい協議しながら実施していきたい。	評価1 1件 評価2 6件 評価3 1件	
6	移住定住	「道の駅おおさと」運営強化事業【農政商工課】	魅力ある商品のラインアップづくりと、新鮮野菜の供給を毎日行うことで「道の駅おおさと」の活性化を図り、交流人口の増加、及びインターネット等を利用した販路の拡大と安定した売り上げを目標とする。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、新鮮野菜を供給した。また、新商品の販売やレストランの新メニューの発売を行い、初めて訪問するお客様や繰り返し訪問いただいた町内や近隣市町村のお客様も買い物を楽しめるように工夫した。大郷町特産のモロヘイヤを練り込んだ「モロヘイヤソーセージ」や枝豆を使用したコロッケ「ずんずんコロちゃん」を開発し商品化した。また、町のキャラクター「常のモロ」のグッズ等の販売を行い観光PRを行った。	予算額 25,805 執行額 12,416	道の駅おおさとの売上 令和6年度までに年間売上 450,000,000円	370,927,055円	378,733,202円	84.2%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時的な休業や2階キッズコーナーの利用停止期間があったが、利用者に喜ばれるように新鮮野菜や新商品の供給を行った。また、地場産品を利用した商品開発を行い、販売に繋がった。	商品情報等の発信を行いながら、商品開発等の事業展開やインターネットを活用した販路拡大を行うことで、売上達成が増加し、目標達成が見込まれる。	評価1 5件 評価2 3件 評価3 0件	

まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証結果一覧(令和2年度実績)

【評価】 1. 順調 2. ほぼ順調 3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R2年度事業内容	予算額・執行額 (千円)	重要業務評価 指標 (KPI)	R元実績値	R2実績値	達成率 (R2)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
7	移住定住	緑の郷活性化事業【農政商工課】	施設本来の目的であるクラインガルテン事業（農泊）の推進を再構築し、交流人口の増加を図るとともに、新しい働き方のスタイルに応じた環境を整え、利便性を高めることでテレワーク勤務者や町内企業の出張者等による施設利用者の増加を図る。	テレワーク勤務者やサテライトオフィスとして対応できるように、Wi-Fi設置工事や備品を購入し、環境整備を行った。客室23室中、8室をテレワークスペース、2室を会議室として利用できるように改修した。	予算額 20,181 執行額 15,510	パストラル縁の郷年間入込客数 令和6年度までに年間 21,000人	14,552人	8,006人	38.1%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、観光にも大きな影響を受け、入込客数が減少した。感染対策を行いながら営業を継続し、新しい働き方のスタイルに応じた環境整備を行った。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染対策方法が明確化されはじめ、観光面での回復も期待されることから、入込客数の増加が見込まれる。サテライトオフィスとしての利用者の増加や令和3年度から変更した指定管理者による、新規事業の展開により、今後の達成が見込まれる。	評価1 1件 評価2 3件 評価3 4件	
8	移住定住	情報発信強化事業【総務課】	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）で整備したスマートフォン用WEBサイトを活用し、移住促進や子育て支援、イベント等の若者世代のニーズに対応した生活情報を提供するとともに、大郷町の魅力を町内外に向けてPRする。	・ホームページの運営 ・メールマガジンの配信（定期：毎月1日、臨時：随時） ・メールマガジン登録啓発（広報誌への掲載）	予算額 2,191 執行額 2,191	ホームページのアクセス数 令和6年度までに500件/日	530件/日	460件/日	92.0%	アクセス数は1日あたり460件となっている。メルマガについては令和2年10月より廃止とし、LINEへの一本化を行った。（LINE：令和2年2月3日から公式アカウントを公開し、令和3年7月6日現在の登録者数938件程度）	アクセス件数については、平均して約480件程度のアクセスが見込める。	評価1 3件 評価2 5件 評価3 0件	
9	結婚出産子育て	結婚応援事業【まちづくり政策課】	1年成婚事業への登録者や、婚活イベントに参加した町内在住の独身者に対して助成金等の支援を行い、婚活を応援する。	・ホームページに本制度に関する情報を常時掲載するとともに、広報誌に掲載し周知を図った。 ・婚活支援助成金交付 延件数 1件	予算額 550 執行額 130	婚活情報の情報発信件数 令和6年度までに年間 20件	13件	13件	65.0%	町ホームページや広報おさとを活用し、制度の周知を行った。	制度の周知活動を継続的に行うとともに、町単独の婚活イベントや各種婚活イベント情報を随時提供することで本制度利用者の増加を図る。	評価1 2件 評価2 4件 評価3 2件	
10	結婚出産子育て	すこやか子育て医療費助成事業【町民課】	子育て家庭の経済的負担の軽減と、子どもの適正な医療機会を確保するため、18歳に到達する日の年度末まで医療費の助成を行う。（現物給付・自己負担額0円）	平成28年4月1日から、すこやか子育て医療費助成事業対象者を18歳到達年度末まで拡大した。 ・すこやか子育て医療費助成対象者 1,121人	予算額 25,021 執行額 22,789	対象者への支給率 令和6年度まで100%の維持	100%	100%	100.0%	年度 対象者数 支給率 H30 1,160人 100% R1 1,150人 100% R2 1,121人 100% R3(見込) 1,100人 100% (対象者数は年度末人数)	毎年度100%を達成している。	評価1 8件 評価2 0件 評価3 0件	
11	結婚出産子育て	国民健康保険子育て支援補助金交付事業【町民課】	大郷町国民健康保険に加入している18歳未満の被保険者がいる子育て世帯の負担の軽減を行うことにより、定住促進を図る。（令和2年度から実施）	令和元年度中に大郷町国民健康保険に加入していた世帯の18歳未満の児童の均等割相当額を補助金として交付した。	予算額 3,500 執行額 2,761	対象者への交付率 令和6年度まで100%の維持	—	100.0%	100.0%	対象児童のいる世帯 103世帯 対象世帯数 90世帯 (3/31までに保険税を完納した世帯) 交付世帯数 87世帯（3世帯辞退） 交付率 100.0%	制度の周知徹底を図るとともに、対象者に申請勧奨をすることで、100%の交付率を達成できる見込み。	評価1 7件 評価2 1件 評価3 0件	
12	結婚出産子育て	不妊治療助成事業【町民課】	不妊治療のうち、特定不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療費の助成を行う。	令和2年4月1日より、助成額を増額した。ホームページ、LINE、広報誌で周知した。宮城県塩釜保健所黒川支所に、県事業を申請した大郷町民への町事業チラシ配布を依頼した。実2件、延4件の申請があり、助成した。個別に相談があった場合に対応した。	予算額 600 執行額 381	特定不妊治療助成事業の情報発信件数 令和6年度までに年間発信件数 18回	11回	14回	77.8%	令和2年度より助成額を増額しており、広報誌で周知した。また、LINEによる周知を加えた。令和3年度は、さらにLINEによる周知回数を増やす予定である。	計15回実施の見込みである。（ホームページ、LINE2回、広報誌12回）	評価1 4件 評価2 4件 評価3 0件	

まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証結果一覧(令和2年度実績)

【評価】 1. 順調 2. ほぼ順調 3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R2年度事業内容	予算額・執行額 (千円)	重要業務評価 指標 (KPI)	R元実績値	R2実績値	達成率 (R2)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見																																													
13	住み続けたいまち	公共交通再構築事業【まちづくり政策課】	本町唯一の公共交通である住民バスについて、交通弱者等の移動手段としての役割も持たせながら、多様化するニーズに対応するため、利用者アンケートや乗車実態調査等、データ収集・分析に基づき、地域特性と費用対効果を踏まえた、より効果的で効率的な運行体系の再構築を図る。	住民バスの運行 ・運行路線数：8路線 ・運行日数：242日 ・乗車人数：39,264人	予算額 37,862 執行額 37,273	住民バスの乗車人数 令和6年度までに年間乗車人数 50,000人	48,125 人	39,264 人	78.5%	令和2年度の利用者は39,264人の乗車に留まっており、令和元年度より更に8,861人減少した。これは新型コロナウイルス感染症の影響によるものであり、令和3年度については現時点で県内高等学校の一斉休校等もないこと、今後実施される見込みもすい事から2年前以前の水準に戻るものと考えられる。	評価指数の乗車人数については、昨年度を下回り、達成することができなかった。乗車数において大きな比率を占める高校通学者は今後も減少することが見込まれるため、引き続き乗車人数の確保を図るために、ニーズにあった路線運営をモニタリングによる評価・データ収集・分析に基づいて、地域特性と費用対効果を踏まえて、再構築しなければならない。	評価1 3件 評価2 5件 評価3 0件																																														
14	住み続けたいまち	大郷町国民健康保険各種検診料助成事業【町民課】	大郷町国民健康保険に加入している者の健康保持及び増進並びに疾病の早期発見・早期治療に資するため、各種検診対象者に検診料の一部を助成し、健康でいきいきと暮らせるまちを目指す。	町が主催する各種がん検診等の受診者のうち、大郷町国民健康保険の被保険者、延べ1,281名の受診分について、国民健康保険特別会計から一般会計へ助成金を交付し、受診時の自己負担額を軽減した。	予算額 1,404 執行額 1,401	町主催のがん検診(助成対象分の検診)受診率 令和6年度までに平均受診率 23%の達成	19%	17%	73.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>検診名</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> <th>受診率</th> <th>法定検診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・胃がん</td> <td>183</td> <td>274,500</td> <td>10%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・乳がん</td> <td>70</td> <td>139,000</td> <td>15%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・子宮頸がん</td> <td>123</td> <td>246,000</td> <td>15%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・腹部超音波</td> <td>448</td> <td>448,000</td> <td>17%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・若世代</td> <td>26</td> <td>78,000</td> <td>5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大腸がん</td> <td>259</td> <td>129,500</td> <td>20%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>・前立腺がん</td> <td>172</td> <td>86,000</td> <td>17%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・結核・肺がん</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受診率は町全体分(国保以外も含む)。 KPIは法定検診分を対象としている。</p>	検診名	件数	助成額	受診率	法定検診	・胃がん	183	274,500	10%	○	・乳がん	70	139,000	15%	○	・子宮頸がん	123	246,000	15%	○	・腹部超音波	448	448,000	17%		・若世代	26	78,000	5%		・大腸がん	259	129,500	20%	○	・前立腺がん	172	86,000	17%		・結核・肺がん	-	-	25%	○	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受診率は低下している。ワクチン接種率が高まることで、受診率も増加すると見込まれる。	評価1 1件 評価2 7件 評価3 0件	
検診名	件数	助成額	受診率	法定検診																																																						
・胃がん	183	274,500	10%	○																																																						
・乳がん	70	139,000	15%	○																																																						
・子宮頸がん	123	246,000	15%	○																																																						
・腹部超音波	448	448,000	17%																																																							
・若世代	26	78,000	5%																																																							
・大腸がん	259	129,500	20%	○																																																						
・前立腺がん	172	86,000	17%																																																							
・結核・肺がん	-	-	25%	○																																																						
15	住み続けたいまち	ふるさと納税制度のPR事業【財政課】	町ホームページや内閣府ホームページ上に町の情報を掲載する他、返礼品の品数アップを図る等大郷の魅力、特産品のPRを積極的に行うことでふるさと納税額のアップを目指す。	町のホームページや、ふるさと納税サイトを通して寄付を募り、大郷町の特産物や良さを全国に発信することができた。(令和2年はふるさと納税6サイト、返礼品73品、事業者13者) 企業版ふるさと納税については、新規事業ということや新型コロナウイルスの影響もあり、大々的にPRが出来なかったこともあって寄附実績には至らなかった。	予算額 56,198 執行額 49,972	企業版ふるさと納税額 令和6年度までに250,000,000円(累計納税額)	—	0円	0%	令和2年度は実績がなかった。新型コロナウイルス感染症の影響で思い通りにPRができなかったということも大きい。ホームページのみの発信なので認知されていない部分もある。	中粕川地区の復興事業と共に大郷町の企業版ふるさと納税を改めて知っていただく機会を持つ。 企業版ふるさと納税のパフレット(復興状況・手続き等)を作成し、企業誘致事業の際に配布するなどし、PR活動に力を入れ目標達成に近づけたい。	評価1 1件 評価2 2件 評価3 5件																																														
16	住み続けたいまち	防犯灯LED化事業【総務課】	防犯灯をLED化することで、夜間における視認性を向上させ、交通事故及び犯罪の発生を防止する。	故障した防犯灯を26箇所LED灯に修繕した。また、宮城県環境交付金を活用し、蛍光灯若しくは水銀灯の防犯灯を74箇所LED灯へ交換した。	予算額 4,453 執行額 4,084	防犯灯LED化率 令和6年度までに更新達成率 100%	—	77.3% 修繕26箇所 LED化74箇所	77.3%	全体で807基の防犯灯が稼働しており、624基がLED灯を使用している状況である。(令和3年4月1日時点)	防犯灯LED化事業は宮城県の環境交付金を活用しながら行っているため、交付金の額に左右されるが、修繕と並行してLED化を進めているため、令和6年度には100%を達成できると考える。	評価1 6件 評価2 2件 評価3 0件																																														

大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 意見表

No	事業名	評価	意見等	
1	企業誘致活動の推進事業	2	コロナの影響が大きいと感じました	
		評価1 0件	2	引き続き情報収集をお願いしたい。国産ドローンメーカー誘致に期待している。
		評価2 5件	2	新型コロナウイルスの感染拡大により、企業訪問は自粛せざるを得ない状況であるが、目的や対象を明確にした上で、より効果的な訪問を実施することが望まれる。また、企業訪問数で評価しているが、企業立地促進奨励金や雇用促進奨励金等の実績も記載した方が企業誘致活動の効果を評価しやすいのではないか。
		評価3 3件	2	町有地を活用した誘致企業向け用地整備を行いながら、国産ドローン向け事業等の誘致を行ってはどうか。
		3	三陸自動車道松島大郷IC等、交通アクセスの良さをもっと前面に出してPR活動を行えば良いのではと思う。	
2	就農支援事業	2	国・県・町の補助事業等の概要を説明とのことであるが、もっと詳しくメリット・デメリット等、補助事業受益者にも聞き取り、支援を受けようとする者の不安を取り除く努力が必要。	
		評価1 0件	2	就農支援事業に係るPRのため、オリジナルCMを作成し、Youtube等により全国に向けPRしてはどうか。試験的に空き家を居所として整備し活用。
		評価2 2件	3	農業で稼ぎたい女性はいないと思う。就農の条件を緩めるか、より広い広告とえさをぶら下げないと不可能。
		評価3 6件	3	R1～2実績0。情報発信や農業生産法人へ積極的なアプローチ必要。労働条件(短時間等)内容見直し必要。
		3	支援の対象を女性農業者としていることから、大郷へ移住を希望している人や、既に町内に在住している人に対して、大郷で農業をする環境だけではなく、生活なども含めた環境を整備しながら推進することが望まれる。	
		3	JAや産直友の会の事例を紹介しながら、新規に取り組む人たちにいろいろなシミュレーションを紹介してはどうか。	
3	空き地空き家活用移住促進事業	2	空き家の仲介等、本町においても空き家が多くなってきていると思いますが、ずっと住んでいたいと思わせる施策が重要であると思う。	
		評価1 1件	2	相談件数増加している。契約へつなげてほしい。
		評価2 4件	3	バス・トイレ等、リフォームにどれほどの費用が必要か等を提示できればいいと思う。
		評価3 3件		

大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 意見表

No	事業名	評価	意見等
4	住宅取得支援事業	1	鶉崎恵の丘に続き、中村原地区の造成、販売、若者の移住定住を促進してほしい。
		評価1 2件	2 民間との協力をもっと進めてみてはどうか。
		評価2 5件	2 移住支援事業においては、魅力ある団地整備と補助金額(大崎市は限度100万で助成)拡大により移住促進を図ることが可能。また、定住促進住宅取得奨励金の引き上げにより、人口流出の防止を図るのも一考。
		評価3 1件	3 民間分譲地も多数点在していると思われるので、都市部の大手不動産業者のサイトに登録してもらうのが良いのではと思う。
5	地域おこし協力隊受入事業	1	町外に転出する隊員に、どこが魅力がないか聴き取り、分析して改善ですね。
		評価1 1件	2 他市町の方に活躍していただくのも良いが、身近にいる方々でも対応可能と考える。
		評価2 6件	2 広報紙等で情報発信されている。えにしホースパークでの白馬ユニコーンウェディングは町のPRとなった。
		評価3 1件	3 情報発信の回数ではなく、情報の内容が魅力的になっているかどうか。閲覧数やフォロワーの数などの検証が必要ではないか。
6	「道の駅おおさと」運営強化事業	1	コロナ禍の中、売上目標達成率84.2%、評価したい。メインとなっている産直コーナー、産直友の会のメンバーが高齢化、今後の課題。
		評価1 5件	2 道の駅おおさとの新鮮野菜は、主に仙台圏の年配者には認知されており、新たな特産品の開発が必要と思う。
		評価2 3件	2 道の駅と縁の郷相互間でのクーポン発行(道の駅→縁の郷、縁の郷→道の駅)で、交流人口に対し、実効的なアナウンスをしてみてもうどうでしょうか。
		評価3 0件	
7	縁の郷活性化事業	2	コロナ禍の中、新しい働き方スタイルとして定着するよう情報発信し、利用者の増加へつなげてほしい。
		評価1 1件	3 農泊は主に大都市圏で活発に行われており、本町は大自然を活用できる下地があり、有効活用が期待される。
		評価2 3件	3 「縁の郷」のサテライトオフィスについて、誰に対してPRしていくのか。観光とワーケーションではターゲットが異なることから、アフターコロナの観光戦略について対象を明確にして推進すべき。
		評価3 4件	

大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 意見表

No	事業名	評価	意見等	
8	情報発信強化事業	2	ウェブサイトの内容を老若男女誰でも見やすい状態にする。	
		評価1 3件	2	LINEやスマートフォン若者世代のニーズに対応しているが高齢者には難しい。
		評価2 5件	2	若者世代への情報発信と併せ、プレミアム商品券についても電子化し、新たな利用者層の開拓を図るのも一考。交流人口増加を念頭に域外に対するクーポン発行等により、道の駅を中心とした観光事業の活性化を図ってみたい。また、税金のコンビニ払いが出来ると便利との声も聞かれます。
		評価3 0件		
9	結婚応援事業	1	発信しつづけることが重要なので頑張ってほしい。	
		評価1 2件	2	町外への結婚適齢期の方への周知を高める施策が重要。
		評価2 4件	2	少子高齢化が地方において重要な課題であることから、引き続き推進していただきたい。
		評価3 2件	3	情報の発信だけでは成婚へつながらない。
			3	大郷の良いところをもっとアピールしながら進めてはどうか。
10	すこやか子育て医療費助成事業	1	医療費助成のみならず、子育て助成を別途充実させる必要があると考える。	
		評価1 8件	1	人口増加のための重要なファクターなので、維持を頑張ってほしい。
		評価2 0件	1	少子高齢化が地方において重要な課題であることから、引き続き推進していただきたい。
		評価3 0件	1	18歳までの医療費助成は魅力的(大崎市は所得制限有)。転入者へのPR効果十分あると思います。
11	国民健康保険子育て支援補助金交付事業	1	少子高齢化が地方において重要な課題であることから、引き続き推進していただきたい。	
		評価1 7件	2	前年度達成見込みを上回らせることは当然、補助率を上げることも肝要と思う。
		評価2 1件		
		評価3 0件		

大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 意見表

No	事業名	評価	意見等
12	不妊治療助成事業 評価1 4件 評価2 4件 評価3 0件	1	周知回数を増やす等、金額面も充実していると思う。
		2	情報発信で周知回数を増やす。
		2	非常にデリケートな課題であるため、対象となる町民が取り組みやすいような相談体制などを取りながら進めていただきたい。
13	公共交通再構築事業 評価1 3件 評価2 5件 評価3 0件	1	需要は増え続けていくので、コストとの折り合いが重要になると思う。
		1	高齢化が進み、免許証返納も増加している中、日常生活に必要な交通手段として運行路線や時間帯等対応をお願いしたい。
		2	住民バスは費用対効果は置いておき、住民の利便性第一に運用すべき。
		2	バスの利用客の多くは学生となります。利用学生や親世帯では、住民還元として学割を設けてはとの声も聞かれます。
14	大郷町国民健康保険各種検診料助成事業 評価1 1件 評価2 7件 評価3 0件	2	各種検診に対する助成は充実していると思う。
		2	取組内容に対し、受診率が17%低い。日本人に2人に1人ががんになる時代。早期発見に役立ってもらうPRチラシも同封等対応。
		2	早期検診の必要性を説明しながら、検診率の向上に努めていただきたい。

大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員 意見表

15 ふるさと納税制度のPR事業		1	強力なライバルとの差別化が必要だと思う。
	評価1 1件	2	みやぎふるさとCM大賞金賞受賞の勢いそのままに、ふるさと納税オリジナルCMを作成し、Youtube等により全国向けPRしてはいかがでしょうか。
	評価2 2件	3	町出身で起業されている方もおられると思う。その方々に周知する(周知していただく)ことも一案かと思う。
	評価3 5件	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、巣籠もり需要の拡大等がある中、達成率が0%、魅力ある返礼品の開発、PR活動の促進が必要。
		3	台風被害のあった令和元年をピークにふるさと納税額が金額、件数ともに下がっている。大郷町におけるふるさと納税の活用についてより発信するとともに、返礼品となる町の特産品についてもPRや商品のブラッシュアップをするなど外部の人に町に対する興味をもってもらうことが必要である。それにより「道の駅大郷」の活性化にも繋がるかと思う。
16 防犯灯LED化事業		1	各行政区で消防団OBの方々が防犯灯の見回りをされており、灯りが消えていることはないように見られる。
	評価1 6件	1	LEDは冬に雪を融かせないので、併用でもいいと思う。
	評価2 2件	1	防犯灯がLEDになり、JA周辺も明るく、夜間の犯罪防止の一助となっている。
	評価3 0件	1	進捗率からして申し分ない水準と判断いたします。道の駅のトイレ入りづらい(暗くて)との声も聞こえます。LED設置により付近を明るくしてみてもはいかがでしょうか。
		2	防犯や交通事故の抑制の観点から、引き続き推進していただきたい。